

第37回学校評議委員会 会議録

平成29年2月6日(月) 10:00～11:30

弘前高校応接室

出席者 学校評議員 5名

学 校 側 校長、教頭(司会)、事務長、教務主任

進路指導主任、生徒指導主任、教務部員(記録)

1 校長挨拶

校長 : 本日はお集まりいただきありがとうございます。この10ヶ月校長として勤務してきましたが、今の生徒たちを見て感じたことは、以前に弘前高校に勤務していたときと比べると持っているものが違うということです。運動部も頑張っていますし、文化部も様々な方面で頑張っています。部活動以外にも、英語のディベートの全国大会に参加したり、エコノミクス甲子園に参加したりと、様々な活動に参加しています。これからは、勉強で学力を身につけるだけではなく、様々な活動を通して、ときには失敗することから学んでいくことも必要だと思えます。また、日本の人口はどんどん減ってきています。本校も1クラス減となり、今現在1・2学年が6クラスになっています。この地区の重点校になることになってはいますが、うかうかしてはいられません。他校を巻き込みながら、「医師を志す高校生支援事業」で拠点校の役割を果たしているように、生徒を育てるという面においても、他の高校の見本となるようにしていかなければなりません。我々は学校の内側から本校を見ている状態です。本日は外部からの視野で、様々な意見を頂きたいと思えますのでよろしくお願いします。

3 意見交換

教頭 : 本校の現状報告ということで、教務部からお願いします。

教務部 : まず、中学校の生徒、教師、保護者向けに行った学校説明会の際のアンケートについて説明します。概ね良いという評価を頂きましたが、中には厳しい意見もありました。「いい面しか見せていない。入学したら、勉強が大変になるなどの情報も正直に伝えるべき。」というものがありました。

次に、公開授業についてです。本校では2日間授業を公開しています。来校者数は昨年度より20名の減少となりました。また、公開授業の際のアンケートは職員会議で情報を共有し、各教科・分掌で改善に取り組んでいます。

続いて、教職員の研修会についてです。6月にアクティブラーニングの研修を

行いました。生徒を主体的に授業に参加させることを目標にした研修会でした。

次に、中高連携協議会についてです。今年は数学の先生をお招きしました。この会は中学校の先生方に1年生の様子を見ていただくことも一つの目的としています。教育委員会の方も含めて、多くの方に来てもらいました。

次に、保護者アンケートについてです。回収率は87%で、昨年より5%増えています。中には厳しい意見もありますが、各分掌、学年で情報を共有し、改善しなければならないと思います。主なものはホームページにも載せています。

続きまして、教員の自己評価についてです。全体的に昨年に比べ、評価が下がっています。教員自身が厳しい目で評価しているということと、改善すべき点が多いということが考えられます。

最後に、生徒の授業アンケートです。毎年、年2回行っています。生徒による授業内容に関する評価と生徒自身の授業への取組み方についての自己評価を行っています。

教頭 : 次に生徒指導部お願いします。

生徒指導部 : 生徒の非行による処分はありませんでした。自転車の事故は増えています。歩行中に転倒し、怪我をしたというのもあります。また、最近の生徒たちはいろいろな悩みを抱えており、家庭内のトラブルの悩みを抱えている生徒もいます。生徒指導部の年間活動は生徒の安全を守り、生徒の生活態度をきちんとさせるということです。今後でも取組んでいきたいと思っています。

次に、今年度の高総体、高総文上位入賞者について説明します。空手部は全国大会に出場しました。百科クラブは、エコノミクス甲子園全国大会に出場し健闘しました。また、年間を通しての活動を高体連から表彰されています。テニス部、空手部、ボーリング部、軟式野球部が表彰されています。

教頭 : 次に進路指導部お願いします。

進路指導部 : 2月1日現在での、入試合格状況、出願状況について説明します。今現在の合格状況、出願状況は昨年度並です。弘前大学は少なく、東北大学の数は増えています。東京大学の数は過去3年変化していません。

進路志望調査は1年に3回行っています。資料には最新のものを載せています。ほぼ前回と変化はありません。1年生は北海道大学や弘前大学が減り、東京大学や東京工業大学が増えています。2年生も、弘前大学が減り東北大学を目指す生徒が増えています。

学習状況について、教科に関することや学習時間についてをまとめています。学習時間については時間が多いから良いというわけではありませんが、1年生は平日の勉強時間は変わらず、休日は過年度の学年と比べて、少ないようです。2年生も平日休日とも時間は少ないことがわかります。時間というよりは家庭学習

をどうさせるのが大切だと思っておりますが、学年や各教科で工夫しながら指導しています。英数国3教科について、数学の家庭学習の状況が、今年の1年生は復習だけでなく、予習もしっかり行なわれていることがわかります。過去6年分の学習状況が記載されていますので、お時間があるときにご覧下さい。

教頭 : 続きまして、授業参観に移りたいと思います。

校内一巡 授業参観

教頭 : 授業参観の感想も含めて、質問やご意見がございましたら、お願いします。

評議員

敦賀鉄正氏 : 資料の10ページにありますが、ロッカーなどの設置をしたほうが良いのではないのでしょうか。難しいようなら、現状での対策は何かできないのでしょうか。

自己評価について、生徒指導部の自己評価が上がった部分について、何か対策したのであれば教えていただきたいです。先生方の自己評価として授業の工夫をしているという項目が良く、生徒の先生方に対してのアンケートでも、授業の工夫がなされているという結果になっています。逆に、先生方の教科内の研修の項目が非常に厳しくつけられています。今後どのように対応するのか、教えていただきたいです。

教頭 : では、生徒指導部から説明をお願いします。

生徒指導部 : 学校内の安全点検は年3回行っており、清掃区域、部活動使用場所の確認、必要があれば改善しています。安全点検は今後も行っていきます。通学時の交通安全については、集会などで注意喚起をし、生徒自身に気をつけてもらっています。今年は警察で、自転車の取り締まり等をしているので、それも影響しているのではないかと思います。

教頭 : では、教務部から教科内研修についてお願いします。

教務部 : 例えば、数学科では、週1回の教科会議において、以前は毎週担当者を決めて、大学入試研究についての発表会を行っていました。他教科についても、詳細はわかりませんが、それぞれ必要なことがやられていると思っています。

教頭 : ロッカーについて、事務長をお願いします。

事務長 : ロッカーの必要性については、今までも話が出ていましたが、消防法に触れるため難しいです。廊下側には、窓があるので付けられません。また、教室側にも窓があるので付けられません。また教室内部も狭くなっていますので設置は不可能

です。ご理解いただきたいと思います。

教頭 :では続いて三國さんお願いします。

評議員

三國典昭氏 :部活の加入率を見ますと、90%以上で大変すばらしいと思います。何か熱中して取組めるものが1つあれば、学業もしっかり取組めるといいますし、社会勉強にもなると思います。部活動加入率100%を目指してほしいと思います。また、弘前高校は重点校になっていますから、少子化や学級減になっていても、少ない生徒の中から優秀な素晴らしい人材を育成してほしいと思います。弘前高校はこれからも、文武両道を土台として、学業の向上を目指していただきたいです。

教頭 :ありがとうございます。それでは、木村さんお願いします。

評議員

木村直美氏 :生徒たちは自ら勉強していますし、先生方もお互いに研鑽し合いながら頑張っていると思います。部活も一生懸命に取り組んでいて、何もいうことはありません。学校内ではアカデミックでとても良いのですが、一步外に出ると、町内会とのギャップが感じられます。新寺町児童館はたくさんの問題を抱えていて、なくなるという話を聞いています。例えば、評議員として、新寺町の町内会長を選出してもらえると、地域と学校のギャップもなくなり、より地域に密着した教育が展開できるのではないかと思います。

教頭 :ありがとうございます。では大谷さんお願いします。

評議員

大谷雅行氏 :保護者からの学校評価を見ると、とても気をつかった内容ばかりだと思います。逆に、学校から家庭へのアンケートを実施してはどうかと思います。学校教育は、家庭教育を土台にあるのではないかと思います。学校から、家庭への要望などもあってもいいのではないのでしょうか。そうしないと、学校教育が何でも要望をかなえてくれる場所というふうに誤解されてしまうのではないかと危惧しています。また、良い授業は、先生と生徒の視線のやり取りが密になっていることが大事だと思います。今日参観した授業はとても良かったと思います。生徒ときちんと視線を合わせながら授業をしていて、とても感銘を受けました。

教頭 :ありがとうございました。次に学校関係者評価をご覧ください。年度末に、生徒の評価、保護者の評価、教員の評価、学校評議員の評価を総合的に評価し、報告書を県に提出しています。ABC評価になっていて、私のほうで案を作成させていただきました。具体的な目標として、「1. 確かな学力を育成します」では研究授業や校内研修を行っていますが、まだまだできることがあるのではと思い、評価

をBにしました。「2. 豊かな人間性と社会性を育成します」においては、本校には弘高ねぶたがあり、この経験ができるのは県内で本校のみであり、これで社会性が大いに育まれると思いましたのでA評価にしました。「3. キャリア教育を推進します」においては、社会に出てからを意識した教育をしていかななくてはならないと思っています。実際に行ってはおりますが、まだまだ足りないという思いからB評価にしました。「4. 重点校としての基礎基盤を整備します」については、これまでも医師を目指す生徒の進路実現のために、中南西北地区の拠点校として取組んできましたが、重点校としてさらに貢献できることがあると考え、B評価にしました。これらの評価について、意見がございましたらお願いします。特になければ、さきほど評議員から頂いた意見を取り入れながら、再度校長と相談して報告書を作成したいと思います。

校長

: 様々なご意見ありがとうございました。部活動については、加入を推奨していきます。部活動だけではなく、自分で何かを見つけてそれに取組んでもらいたいと思います。探求的学習として自分たちの課題を自分たちで設定し、克服するという経験をさせていきたい。地域との関わりについては、チーム学校という考え方があります。地域や学校教育に関わっている方に協力してもらい、生徒を育てようというものです。授業については、効果的な問答を行うのが一番の基本だと思います。常に生徒と教師との間で意思疎通を図ることが大事だと思います。授業第一主義として取組んでいく所存です。今後も、生徒が学校に来るのが楽しい、そして学校で学びたいと思えるように努力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。

終了

11:30